



六郷 ろくごう

六郷小学校 学校報

R4. 3. 8 (火)

No. 48

東京都大田区の 高畑小学校との交流!

本校では、「六郷」という地名が同じということで、大田区西六郷にある高畑小学校さんと交流をしています。

特に平成30年度と令和元年度は、児童による学校訪問が実現し、高畑小さんで集会を行ってくださり、自分たちの地域についてプレゼンし合ったり、同じ学年のクラスで一緒に授業をしたり、給食を食べたりと楽しい交流を果たしました。

- 平成29年度…PTA役員、当時の校長先生、担当の先生が高畑小へ訪問
- 平成30年度…5・6年生の参加希望者15名が冬休み期間に訪問する。
- 令和元年度…5・6年生の参加希望者21名が冬休み期間に訪問する。
- 令和2年度…コロナ禍のため、訪問を行わず、総合的な学習の時間の成果を伝え合う。
- 令和3年度…令和2年度と同様に、総合的な学習の時間の成果を伝え合う。



3年生
大田区しょうかいMAP



4年生
つり橋公園
図かん



5年生
運動会しょうかい〜特別版〜



6年生
たて割り班活動しょうかい

本校からは、1月下旬に3年生以上の「総合的な学習の時間」を模造紙にまとめて送りました。6年生が更に、六郷小学校や美郷町の紹介DVDを作成して一緒に届けました。

お返しに、高畑小学校さんから3年生以上の総合のまとめが届けられました。現在は、放送室前に掲示しています。

なんと…高畑小学校の給食で「秋田の郷土食」!



きりたんぼやいばりがっご、ハタハタの唐揚げなど、本格的秋田メニューを給食で味わったそうです。コロナが収束したら、または是非とも高畑小学校さんへの訪問を再開させたいと願っています。

卒業式に向けての練習 在校生も卒業生も心をこめて!



在校生の卒業式練習は、1回目の礼法、2回目の歌練習と、短時間でしっかりと心構えができています。

今回は、在校生が歌う曲は、校歌と「大空がむかえる朝」の2曲に絞りました。

1年生から5年生までが合わせての練習は初めてでしたが、気持ちが伝わってきます。

全体での練習は限られた回数しかありませんが、集中してよりよくしていきましょう!



6年生は、卒業式で「オワりはじまり」と「旅立ちの日に」を歌います。7日に、〇〇さんからリモートで歌唱指導をしていただきました。体育館から画面越しに歌を届け、〇〇さんからは、歌を聴いて具体的なアドバイスをしていただきました。多くの方の応援を感じながら、6年生は卒業に向けて取り組んでいます。

プルタブ募金へのご協力 ありがとうございました。

ふれあい委員会の呼びかけに、今年度は50kgも集まり、美郷町共同募金委員会へ届けました。ご家庭のご協力に感謝申し上げます。

こんな記事を目にしました。日々パソコンと向き合う時間の多い自分も、考えさせられました。「デジタルデトックス」は、「ミズモの日」と仲良しな気がします。(令和4年2月22日 秋田さきがけより)

秋田さきがけ

生活必需品の一つとなったスマートフォンなどのデジタル機器からあえて距離を置く「デジタルデトックス」に注目している。心のスイッチを切ったことで「睡眠の質が上がった」「集中力が高まった」など、報告された効果はさまざま。専門家は「デジタル機器を『使わない』という発想が重要。機器との距離感を考え直して」と呼び掛けている。

東京都文京区の会社員佐藤祥子さん(46)は、新型コロナウイルスでリモート授業が増加し、デジタル機器ばかり見ている高校生の息子を心配するうち、自身も「スマホ依存」に陥っていることに気付いた。デジタルデトックスを始めようと思った。趣味のジョギング中にスマホをコインロッカーに預けることから挑戦した。

「わずか1時間でも」手放している間に連絡が来たら、「どうしよう」「途中で足をくじいたら、どう通報しよう」と不安だったが、回を重ねるうち、走りながら「解放感」

脱スマホ、心もオフ

も得られるように。最近「寢室にスマホを持ち込まない」「食卓に置かない」などの「マイルド」を設定し「できることから少しずつ実践している」と強調する。

佐藤さんのようにスマホ依存を自覚している人は案外多い。調査会社「クロス・マーケティング」(東京)が男女千人を対象に実施した調査では、5割近くが依存を自覚していると回答した。

東京都調布市の日産業森和哉さん(58)も、終日パソコンの前に座り、休憩時間もスマホをいじる「スイッチが入りっぱなしのような状況」に疑問を抱くように。スマホを持たずに散歩に出掛けるようになった。季節の移り変わりが分かるようになった」と実感。「スマホは目的ではなく、あくまで手段」という意識を持つべきだと自戒を込めて語る。

とはいえ電話に出られなかったり、メールの返

デジタルデトックス後の変化

時間を有効活用できた	15.3%
仕事や勉強に集中できた	12.2
睡眠の質が高まった	9.2
疲れにくくなった	8.7
特になし	34.2

※上位5回答。「クロス・マーケティング」の調査による

専門家「距離感再考を」

信が遅れたりすることに不利を懸念する声は少なくない。

4年ほど前からデジタルデトックスを続ける山口県宇部市の会社員糸山勇斗さん(27)は、無制限通信アプリLINE(ライン)のアイコンに大きな文字で「21時以降はスマホ電源オフにします」と表示。「相手からの意図が伝わり、心置きなく電源を切れる」と話す。最近では友人のインスタグラムをチェックする機会も減ったという。近況は会った時に直接聞いた方が、会話は盛り上がる」と断言する。

デジタルデトックスに関する講習会を手掛ける「日本デジタルデトックス協会(東京)の森下彰大理事(29)は、しっかりと休息の時間を設けることが大事だ。デジタル機器の利用を限定するのはなく、デジタルデトックスを、機器との距離を考えるきっかけにしてほしいと話している。

「ミズモの日」についておうちの方の感想を紹介します

- ・ミズモの日は、トランプや工作などで楽しんでた。家族との時間も増え、よく話した。
- ・スポ少のこと、勉強のこと、友達のことなど、たくさん話した。いろいろ考えていることに成長を感じた。
- ・子どもから親への声かけもあり、一緒に取り組んでほしいという強い気持ちも感じられた。カードがなくても続けていきたい。(4年保護者さん方より)

- ・ノー電子の日は、自分で意識してゲームをやらないようにし、どう過ごすか考えていた。
- ・ミズモの日は、運動をしてTVやゲーム等は見ないで頑張れた。他の日も、もう少し時間を守れるように頑張ってほしい。
- ・よい取組だと思う。ノーメディアの日は親子で会話を楽しみ、家事を一緒にし、よいコミュニケーションを図れる日と感じている。(5年保護者さん方より)

※逆に、なかなか難しかったというお声もありました。できるところから少しずつ共に意識していきませんか。